

平成26年度 生駒市立学校給食センター運営協議会〔第1回〕会議録（要旨）

1. 日 時 平成26年11月27日（木）午後3時00分～午後4時10分

2. 場 所 生駒市立学校給食センター会議室

3. 日 程

(1) 挨拶

(2) 運営協議会委員等の紹介

(3) 運営協議会会長・副会長の互選について

(4) 新会長の挨拶

(5) 案件

① 平成26年度 学校給食実施計画等について

② 学校給食センターにおける食育について

③ 学校給食センターの見学及び試食について

④ 食材の細菌検査の結果について

⑤ 食材の放射性物資検査の結果について

⑥ 学校給食センター更新手順等について

(6) その他

4. 出席者

(委員)

|       |        |       |
|-------|--------|-------|
| 根津 智子 | 十文字 良明 | 藤波 康幸 |
| 出口 隆司 | 井上 園子  | 岡口 千香 |
| 人見 厚子 | 植田 健嗣  | 田中 敬子 |

(事務局)

|                |            |  |
|----------------|------------|--|
| 教育総務部長 峯島 妙    |            |  |
| 給食センター所長 平田 治樹 | 係長 松下 正治   |  |
| 主任 吉田 昌浩       | 主査 立岡 昌彦   |  |
| 調理員 上野 高廣      | 栄養教諭 佐野 仁美 |  |
| 学校栄養職員 平井 久美子  |            |  |

5. 欠席者

(委員)

松岡 宏明 井上 廣

※欠席委員からの委任状2名

## 議 事 等

○ 教育総務部長挨拶

○ 委員及び事務局の紹介

○ 会長・副会長の選出

・互選により次のとおり選出

会長：出口 隆司委員

副会長：十文字 良明委員

○ 新会長挨拶

○ 案件

① 平成26年度 学校給食実施計画等について

(事務局) 資料1-1～1-5について説明

質疑応答なし

② 学校給食センターにおける食育について

(事務局) 資料2-1～2-4について説明

質疑応答なし

(委員) 学校給食センターにおいては、多種多様な食の教育に取り組まれていることがわかりました。今後も各学校と調整を図りながら、食の教育にあたっていただきますようお願いいたします。

③ 学校給食センターの見学及び試食について

(事務局) 資料3-1・3-2について説明

質疑応答なし

(委員) 学校給食センターの見学及び試食は、保護者に対して、学校給食や給食センターを理解してもらうよい機会であると思いますので、これからもより多くの保護者に参加してもらえよう、事業継続をお願いいたします。

④ 食材の細菌検査等の結果について

(事務局) 資料4-1・4-2について説明

質疑応答なし

⑤ 食材の放射性物質検査の結果について

(事務局) 資料 5-1 について説明

(委員) 放射性物質の検査機関はどこで行っていますか。

(事務局) 関西環境センターで行ってます。

(委員) 他にないようですので、引き続き食材の検査を実施していただき、安全安心な給食に努めていただきますようお願いいたします。

⑥ 学校給食センター更新手順等について

(事務局) 資料 6-1・6-2 について説明

(委員) ただ今の事務局案のとおり、新たな学校給食センターにおきまして一層安全でおいしい給食が提供できるよう、計画的に整備を進められるようお願いします。

(委員) それでは、最後の 6 その他ですが、事務局から何かございますか。

(事務局) 案件⑥に関わりますが、更新については、専門部会等を設置するとともに、その内容等を運営協議会にフィードバック等をしていきたいと考えています。

(委員) 2点ありますが、1点目は平成26年1月に浜松市で1000人以上の食中毒の事案がありましたが、幸い軽症のノロウイルスであったが、ノロウイルスの菌がパンについていたため、大きな事案となりました。今後、未然に防ぐ対策を考えたいと思っております。また、起こってしまった時には、保健所・学校・給食センターと連絡を密にして対応をとっていききたいと思っております。

2点目は、アレルギー対策はしているのでしょうか。

(事務局) 国の方では、対応レバルの段階が規定されていますが、現行のセンターでは第1段階ということで、献立表の中にアレルゲンである27品目については記載しており、その他のアレルゲンについては保護者からの問合せにより対応しております。本来であれば、除去食や代替食がいいとは思いますが、現行センターでは、除去食や代替食を作るとなった場合、相互汚染を防ぐということで、専用の部屋が必要となってきますが、このセンターでは、煮物・フライ・蒸し等を1フロアで行っており、専用の部屋を作ることは、物理的に無理なので、このような対策をさせていただいております。牛乳につきましては、アレルギーで飲めない児童生徒について保護者からの申請に基づきまして、停止を行っております。

す。

(事務局) 昨年、今年の夏休み期間に特別支援学級の先生でアレルギー対応が必要な学級担任を中心に近大医学部の先生に来てもらい、エピペン講習を行いました。ファイザーの方からエピペンのような物を持ってきてもらい、実際にエピペンを打つという体験を行いました。今後、何年か続けて行っていききたいと思います。

(委員) 講習の重要性と現場でのマニュアル作りをしてもらいたいのと。まずは食べさせないことであり、もし食べさせた場合、症状に応じて先生方がどのように動いて、どこに連絡していいのかをシュミレーションできるマニュアルを作成するように言われているので、検討をお願いしたいと思います。

(事務局) 学校長にはお願いしていますが、アレルギー対応の指導票を来年度から給食でアレルギー対応が必要な子どものご家族には、必ず主治医の認めのある指導票を提出していただくことを考えております。毎年子どもも成長によってアレルギーの症状が変わると思いますので、産業医にも相談しているところでもあります。

(委員) 私どもの学校にもアレルギーを持つ児童がいて、給食は親が弁当を作って食べております。今年、修学旅行があったので、他の児童と同じものを食べさせてあげたいという思いで担任が下見に行ったときに業者とかなり打合せを行い、どういうものなんかを詳細に調べて、食べられるものと食べられないものと分析して、みんなで食事ができました。帰りはカレーでしたが、カレーも駄目だったので、家からカレーを作ってもらい、それを冷凍にして、業者に温めてもらって出したという経緯がありました。担任も情報収集して、業者と話を詰めて、無事に修学旅行ができました。そういう配慮は大事な事であると思います。学校の中では、何とか努力しながらやっています。

(事務局) アレルギー対応ですが、今のセンターで行うと事故のもとになるので、新しいセンターでは想定していきたいと思います。アレルゲンですが、27品目あるわけで、その27品目全てできるかという点と難しいのではと思います。どこまで見据えてするのかということと、一人の子どもが1つのアレルゲンという場合と、2つ3つと複数を持っている子どもが

いると思います。そういう組み合わせを考えると非常に多くの組み合わせとなります。例えば、乳製品を見てみますと乳だけが駄目な場合と卵だけが駄目な場合と両方駄目な場合と3パターンができ、それを作るとなると難しいかと思います。除去食や代替食にしても類型化したものということも検討課題であると思います。

ノロウィルスの件ですが、静岡のパンの件があったときに、すぐに本市の納入業者の方に衛生管理の徹底ということで、各事業所に通知をしております。給食センターの方でも職員の健康チェックを行い、疑いがあると思われる場合は、調理に従事させないという対応を行っております。

(委員) 奈良県の保健体育課でも昨年度アレルギーの一定の講習会を行っておりアレルギーに関して大きな関心をもっていると思います。市の保護者の方につきましてもアレルギーの子どもの話も多いので、学校給食に対する要望等があるとは思いますが、対応等が難しいと思います。できるだけ、子どもが同じものを食べられる環境がいいと思いますので、配慮していただきますようお願いいたします。

浜松市のパンの食中毒の件ですが、衛生管理がしっかりとした業者でもこういう形で起こりますので、ヒューマンエラー的な部分もありますので、より一層のチェック体制をお願いしたいと思います。

他に何かございませんか。

何もないようですので、本日の運営協議会は、これで閉会といたします。

皆様、本日はどうもありがとうございました。

～ 閉 会 ～